

第1回 九州・沖縄ブロック 相談支援情報交換会

❁ 福岡県の取り組み報告

福岡県実行委員

- | | | | |
|-----------|------|--------------|-------|
| ●九州がんセンター | 竹山由子 | ●大牟田市立病院 | 北嶋晴彦 |
| ●九州がんセンター | 松尾由佳 | ●社会保険田川病院 | 織田久美子 |
| ●九州がんセンター | 矢野知子 | ●北九州市立医療センター | 山申和美 |
| ●九州大学病院 | 坂本節子 | ●九州厚生年金病院 | 高田由美子 |

福岡県

九州北東部に位置し、国土の1.3%、九州の11.8%を占める。

◆ 平成23年10月1日現在の総人口：5,080,308人

福岡地域： 2,515,808人(総人口の49.52%)

北九州地域：1,303,058人(同25.65%)

筑後地域： 829,450人(同16.33%)

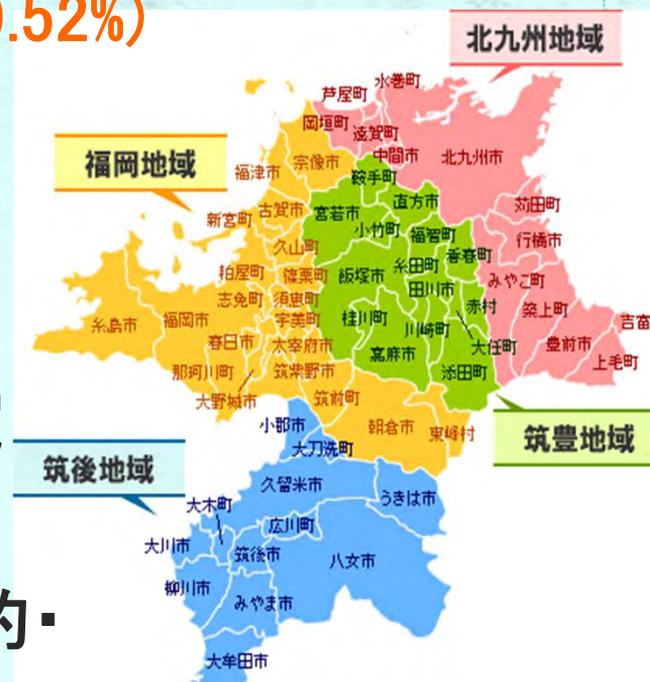
筑豊地域： 431,992人(同8.50%)

◆ 福岡市、北九州市の2つの政令指定

都市を持つ福岡県には、28市、30町

◆ 2村があり、これら60市町村は地理的・

歴史的・経済的特性から4地域に分けられる。



「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成24年9月1日現在)の公表 [ふくおかデータウェブ](#)より

がん診療連携拠点病院

北九州地域

福岡地域

筑豊地域

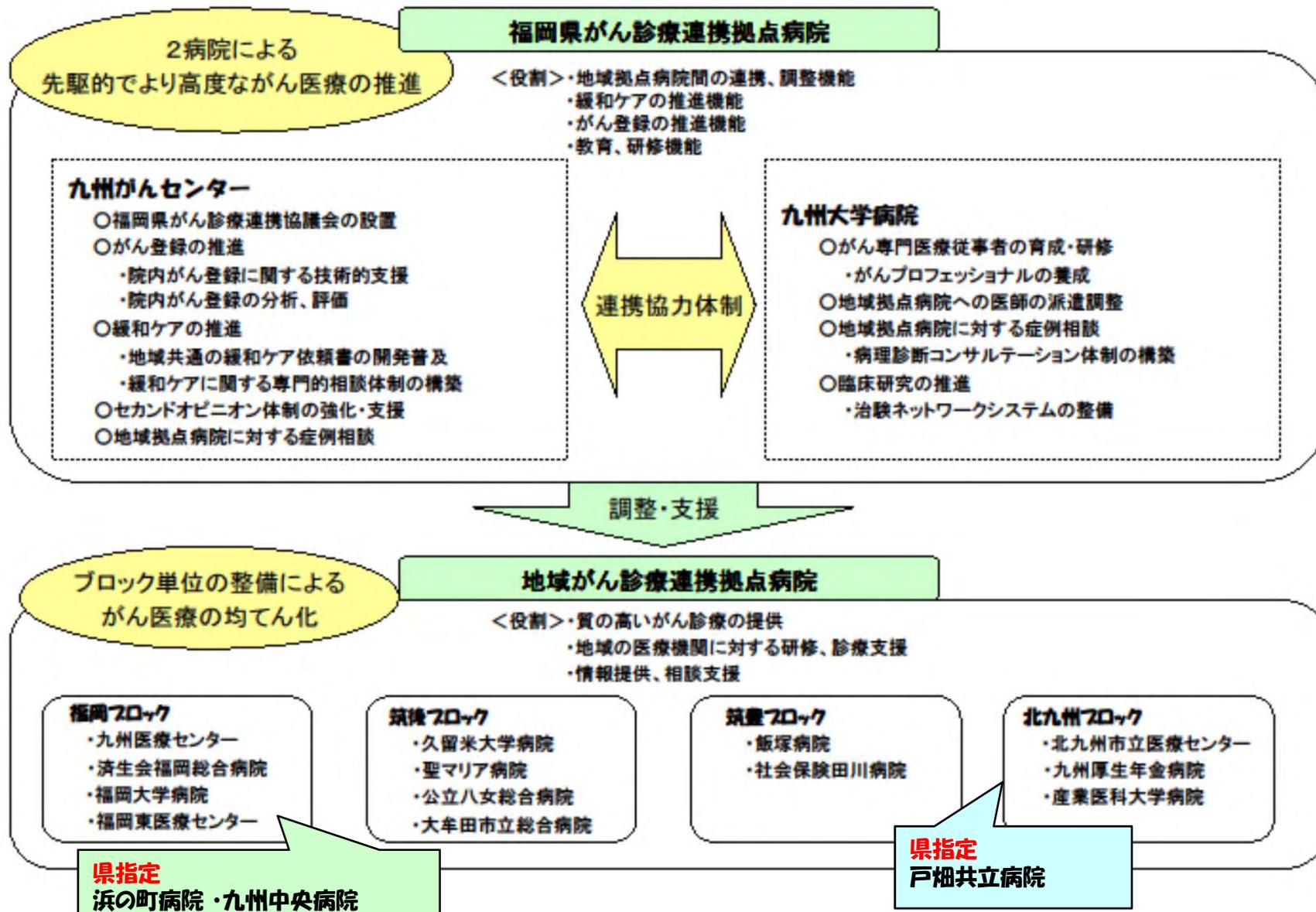
筑後地域

がん診療連携拠点病院

県指定がん診療連携
拠点病院



福岡県がん診療連携拠点病院体制



福岡県でがん相談に関わる相談員の 学習ニーズや学習課題

(H24. 3月相談員アンケート結果より)

- 1、がんについての医学的研修（わかりやすい勉強会）
- 2、事例検討会
- 3、意見交換
- 4、面接場面での研修
- 5、体験談
- 6、がん患者団体の活動やがんサロンの運営
- 7、経済面・社会保障制度の学習会
- 8、患者や家族の精神面や心理的な支援
- 9、行政について
- 10、他の地域がん診療連携拠点病院の取り組みについて
- 11、地域の中での連携



福岡県がん相談員研修の取り組み

1. H24年7月に第1回福岡県拠点病院相談員実務者会議を開催

※それまでは、県主催の拠点病院相談員連絡会議を年に1回開催していた。

＜内容＞①アンケート内容の報告

②他県の取り組みの報告

③フォローアップ研修の報告

④福岡県でどのような相談員研修会を開催していくのかグループワーク

* 相談員研修を自分たちで開催していく意図が伝わらなかった。

* 福岡県拠点病院で計画すればいい。



福岡県拠点病院と相談員指導者研修を修了した8名のコアメンバーで実働を開始した。

九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム

平成25年度 福岡県がん相談員研修開催に向けて

★地域連携・情報専門部会の下部組織として相談支援ワーキンググループを立ち上げた！

1. 地域連携・情報専門部会長の協力
2. 国がんからの他県の規約の紹介

【協議事項】

- ①がん患者・家族への相談支援業務に関すること
- ②がん患者の医療連携に関すること
- ③相談件数のデータ収集に関すること
- ④福岡県で行うがん相談員の研修計画に関すること
- ⑤地域連携クリティカルパスの整備に関すること
- ⑥福岡県民への啓発活動に関すること
- ⑦終末期医療に関すること
- ⑧その他、がん相談支援に関連し必要と判断されること

福岡県がん診療連携協議会

専門部会

教育
研修

地域連携
情報

がん
登録

相談支援
WG

★福岡県がん診療連携拠点病院相談支援センター実務者コアメンバー会議

日時：平成25年1月30日(水)15時～

場所：福岡県庁地下1階南棟 行政13号会議室

参加者：9名(福岡県がん拠点病院相談員4名・指導者研修修了者4名・福岡県1名)

県の協力

平成25年度 第1回

福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会

1. 第2回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の情報提供・相談支援部会(5/13開催・国立がん研究センター)の報告
2. 相談員研修について
3. 第2回九州・沖縄地域相談支援フォーラム開催について → **福岡県が担当**

→ 各病院でサポートしていただき相談員が研修会などに参加しやすい体制を作ってほしいと依頼

主催はどこなのかはっきりしないと病院としてもサポートできない。

- * 福岡県の拠点病院相談員が研修会を自分たちで開催していくことに対しては、了承を得ることができた。
- * 県と福岡県診療連携協議会 地域連携情報専門部会の共催で研修会などを企画することとなった。

福岡県の介入を促すことに繋がった

H25年度 福岡県がん診療連携拠点病院 地域連携・情報専門部会 相談支援WG年間計画

【目的】

福岡県がん診療連携拠点病院がん専門相談員のスキルアップを目指すとともに、がん診療連携拠点病院の相談員として必要な情報を共有し、連携の強化を図る。

【目標】

- ①情報提供相談支援部会（都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の機能強化を目的に設置）、地域連携・情報専門部会（福岡県がん診療連携協議会）の情報や福岡県がん対策推進基本計画などの情報共有を図る
- ②事例検討会を通して、疾患や対象の理解や多職種の視点を学ぶことで、今後の相談業務に活かすことができる。
- ③就労支援やピアサポート等に関する最新の情報を得ることができる。
- ④グループワークなどを通し、県内の相談員の連携強化を図る。

【対象】 福岡県がん診療連携拠点病院がん専門相談員



福岡県がん相談員研修会

★第1回 H25年2月25日（月）

- ・福岡県のがん相談支援に関する動向
- ・乳がんについて講義 乳がん体験者のお話
- ・福岡県のがん対策推進計画

★第2回 H25年7月 5日（金）

- ・25年度福岡県がん相談員研修について
- ・第2回九州/沖縄地域相談支援フォーラムについて
- ・事例検討（肝臓がん・肺がん）

★第3回 H26年3月 7日（金）予定

★就労支援研修会

H25年10月5日（土）

★第2回 九州・沖縄相談支援フォーラム

H26年2月8日（土）予定

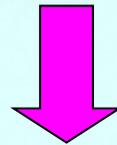


福岡県がん相談員研修会開催・企画方針

- 研修企画は、がん診療拠点病院のブロック単位で持ち回りで行う。(25年度は、福岡ブロックが担当)
- 国立がん研究センター主催の相談員指導者研修も、各拠点病院より交代で参加する。
- 現時点では活動予算がないため、事例検討会などを中心とした研修を企画する。今後は、福岡県などにも予算をつけてもらえるよう働きかけていく。
- 福岡県がん相談員研修は、福岡県と地域連携・情報専門部会の共催という形をとり、案内文書などは福岡県保健医療介護部健康増進課長と地域連携・情報専門部会長との併記とする。

福岡県内の協力体制の状況

- ・福岡県としての研修会などを全然開催していなかった状況から、年に数回の企画を立てることができるようになった。
- ・協力が得にくかった福岡ブロックから、今年は相談員指導者研修会に参加することができた。



❁ 福岡県は相談員指導者研修を修了したコアメンバーが支え合い、一歩ずつだが研修会の開催にこぎつけている。一緒に頑張れる仲間がいることは強みである。